

## 石巻圏域宿泊事業者部会の開催状況等

### 【開催日】

第1回：令和7年6月10日（火）

第2回：令和7年9月3日（火）

令和7年9月29日  
東部地方振興事務所

## 第1回宿泊事業者部会で出された意見等（現状・課題等）

区分	意見等の内容	備考
宿泊客の減少傾向 団体客の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女川原発関連のビジネス需要が昨年3月以降低迷し、稼働率が大幅に落ち込んでいる。</li> <li>・観光客やインバウンドは昨年並みだが、原発作業員の長期滞在減少を穴埋めできていない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員需要が減り空室が増加中。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去は団体客中心だったが、人口減少で現在はリピーター中心の小規模運営。</li> </ul>	
二次交通の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として、目的地への二次交通（マイクロ／シャトルバス）の整備が不足。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿まで7km、徒歩約1.5h。送迎サービスがないと個人旅行客は敬遠しやすい。</li> <li>・二次交通整備（公共交通や送迎）の必要性が高い。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎バスの確保が課題。</li> </ul>	
インバウンド対応の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド客には英語面で大きな課題。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設が観光の核となり、石巻・女川・気仙沼が連携して少人数型インバウンドを狙う観光体制を模索すべき。</li> </ul>	
厳しい経営環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚種の変化や牡蠣など海産資源の不安定化で冬期の集客が大きく落ち込んでいる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料・物価・人件費が上昇する一方、価格競争で宿泊料金を簡単に上げられない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者不足に加え、女将が全業務を担い、負担が過重。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊税を機に、ライフライン等のインフラ強化に財源を活用すべき。</li> </ul>	
観光関係者間の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の観光資源を真剣に見直し、魅力を発掘・発信しなければ集客減少に直結。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイルやスポーツツーリズムなどで、関係者全員が連携すれば相乗効果あり。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北上町では同業者同士の情報交換の場が減少。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設が観光の核となり、石巻・女川・気仙沼が連携して少人数型インバウンドを狙う観光体制を模索すべき。</li> </ul>	再掲

## 第1回宿泊事業者部会で出された意見等（宿泊税の活用）

※区分：①戦略的な観光地域づくり ②周遊性向上のための二次交通対策 ③快適な旅行環境のための受け入れ環境整備 ④効果的なプロモーションの展開

区分	取組項目	意見等の内容	区分	備考
地域資源を活かした観光魅力の向上	体験ツアー造成、販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に関わる多様な関係者を巻き込んだツアーコース造成に対する支援。</li> <li>・農業体験や漁業体験等のアドベンチャーツーリズム、地域食材採取とローカルガストロニーの食事の組み合わせて2泊以上のツアーを造成。</li> </ul>	①	
	集客力のある地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台・松島エリア等と連動させ、観光客を引き込む仕掛けが必要。</li> <li>・石巻の魅力を再発掘し、発信することが必要。</li> </ul>	①	
	オルレ利用者を宿泊につなぐ仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オルレと宿泊を連動した特典制度により、宿泊施設への誘導を図る（宿泊施設間や他コース等と連携したるポイント事業、SNS活用した口コミ、等）。</li> </ul>	①	
	滞在型・長期宿泊の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のアクティビティ拠点（釣り・SUPなど）を開拓すれば、大型連休の宿泊増につながる。</li> <li>・ダイビングポイントの開発には漁業権者の理解が課題。</li> </ul>	①	
	オフシーズンの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季に積雪が少ない利点を活かし、積雪地域のスポーツ合宿（陸上など）を誘致。</li> </ul>	①	
	スポーツ合宿の広域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の連携による強豪チームの全国合同練習会を企画。</li> <li>・仙台空港や仙台駅からの送迎費補助。</li> </ul>	①	
	金華山の外国人向け観光資源としての活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人にとっての金華山の魅力を調査。</li> <li>・外国人向けに観光的に見せるプロモーション（芝生で、鹿、海、緑の中でヨガ体験など）。</li> <li>・海中の観光資源調査の実施。</li> <li>・外国人向け団体ツアーコースに金華山を組み込む（船のカモメ餌やりなども人気が出そう。）。</li> </ul>	①	再掲
	海を活用したイベント実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各浜において競技、海上協議、音楽フェスなど。</li> </ul>	①	
	他地域との差別化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興には、石巻ならではの尖った戦略が必要。</li> </ul>	①	
	ターゲットの明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内旅行者の中心層（30～40代女性）をターゲットとした戦略。</li> </ul>	①	
地域資源を活かしたインバウンド誘致	イベント開催による誘客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花火大会やドローンショーなど目玉イベントの開催。</li> <li>・エリアマップの作成。</li> </ul>	①	
	石巻圏域のファンづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口増に向けた圏域ブランドの確立（食、体験など）。</li> <li>・田代島や金華山のジンクス（3年続けて…）を活かしたリピータープラン</li> <li>・船による周遊ルートの整備（雄勝、田代島、金華山等）。</li> <li>・宿泊・商業・体験をまとめた広域マップの作成。</li> <li>・広域での特典企画の実施（スタンプラリー、ポイントカード、クーポン券など）。</li> </ul>	①	

区分	取組項目	意見等の内容	区分	備考
一次産業との連携	一次産業との連携	・観光以外の分野に対する支援による連携（漁業者によるブルーツーリズムへの協力等）。	①	
	気候変動と食の対応	・温暖化による新たな魚種の料理レシピの勉強会の開催。	①	
	漁業体験の観光化への支援	・遊漁船安全設備の導入費の補助。 ・遊漁船運行資格の取得支援。	①	
インバウンドの呼び込み強化	海外向け情報発信の強化	・「VISIT MIYAGI」への石巻圏域情報の掲載強化。 ・「VISIT MIYAGI」におけるDMOやOTAへのリンク等による予約アクセス性の強化。 ・SNS・TikTok向けプロモーション動画の制作。	④	
	インバウンド対策	・仙台空港の直行便による空港経由の誘客強化。 ・来訪が増えている台湾・中国などからの旅行客呼び込み促進。	④	
	金華山の外国人向け観光資源としての活用	・外国人にとっての金華山の魅力を調査。 ・外国人向けに観光的に見せるプロモーション（芝生で、鹿、海、緑の中でヨガ体験など）。 ・海中の観光資源調査の実施。 ・外国人向け団体ツアーコースに金華山を組み込む（船のかモメ餌やりなども人気が出そう。）。	④	
	外国人の長期滞在促進	・長期滞在施設を紹介する外国人向けサイトの開設。 ・レンタカー補助（石巻を拠点に三陸道を活かした東北観光を推進）。	④	
	イベント開催による誘客	・花火大会やドローンショーなど目玉イベントの開催。 ・エリアマップの作成。	④	
	地域資源を活かしたインバウンド誘致	・地域の観光資源（SUP、モーターボート、牧場、ブルーインパルス等）を絡めたインバウンド誘致。 ・釣り船業者などの料金や条件等の情報をまとめ、宿泊施設へ提供。 ・インバウンドに人気となり得る資源の海外発信（金華山の鹿や田代島の猫など）。 ・ブルーインパルスの搭乗体験の実施。 ・マリンスポーツの宿泊ツアーに対する補助。 ・地域内の馬車運行に対する補助。 ・自動翻訳機などの購入費補助。	④	
	宿泊施設における地元食材の購入支援	・石巻限定の食材提供により、地域全体で魅力発信。	④	再掲
	インバウンド対応力の向上	・多言語でのSNS予約やメッセージ対応等に対する支援。	④	
	外国人インフルエンサーの活用	・外国人トレイル観光客を地域ファン化し、拡散役として活用。	④	
	DX設備に対する補助	・インバウンド向けDX設備整備に対する補助（フリーWi-Fi等）	④	再掲
観光客の圏域内移動の利便性向上	二次交通の整備	・仙台空港から石巻圏域までの送迎バスの整備。 ・塩竈・松島などから石巻圏域への圏域をまたぐ移動手段の整備。 ・石巻市内の観光地を巡る定期循環バスの整備。	②	
	インバウンド対策	・仙台空港の直行便による空港経由の誘客強化。	②	再掲
	個人客向けの移動手段の整備	・電動キックボードやカーシェアなど、個人の移動手段の導入による交通不便解消。	②	

区分	取組項目	意見等の内容	区分	備考
観光プロモーションの強化	移動手段の確保	・駅と宿・観光地をつなぐバスやレンタサイクルへの補助。 ・EV充電設備に係る電気代の補助。	②	
	地域資源を活かしたインバウンド誘致	・地域内の馬車運行に対する補助。	②	再掲
	移動手段の整備	・観光客が気軽に移動できるような交通手段の整備や周辺案内へのサポート充実。	②	
	交通アクセスの課題	・仙台空港から石巻までのスムーズな移動手段の整備。	②	
地域ぐるみの観光対応力アップ	海外向け情報発信の強化	・「VISIT MIYAGI」への石巻圏域情報の掲載強化、 ・「VISIT MIYAGI」におけるDMOやOTAへのリンク等による予約アクセシビリティの強化。 ・SNS・TikTok向けプロモーション動画の制作。	④	再掲
	人を呼び込むためのSNS強化	・人を呼び込むためにはSNS強化が急務。	④	
	外国人の長期滞在促進	・長期滞在施設を紹介する外国人向けサイトの開設。	④	再掲
	外国人インフルエンサーの活用	・外国人トレーラー観光客を地域ファン化し、拡散役として活用。	④	再掲
	プロモーションの強化	・宿泊観光客の誘致に特化したプロモーション実施。	④	
地域ぐるみの観光対応力アップ	予約体制の強化	・ツアー予約受付人員やツアーコンダクター配置等に対する支援。	③	
	連携体制整備	・地域一体の観光振興には、受け入れ状況や課題を把握し、事業者の取り組みをつなげて一つの観光商品として販売する調整役が必要（DMOの役割強化、DMOによる横断的コーディネート）。	③	
	OTA戦略見直し	・新たなOTA戦略による宣伝力の強化が重要。	③	
	体験コンテンツ受入れ連携	・体験受け入れが困難なときに、空き枠を他施設へ案内する仕組みが必要。	③	
	地域間の連携	・三陸道沿線やJR沿線の地域と連携した共通通貨、クーポンの導入。	③	
	観光振興の担い手づくり	・多様な業種の若者を対象に、観光振興や資源発掘をテーマにしたワークショップを開催。	③	
	広域連携による競技団体等の誘致	・競技団体や大会等を誘致するための運動施設の広域利活用計画の策定。	③	
	他地域との差別化	・観光振興には、石巻ならではの尖った戦略が必要。	③	再掲
	アドバイザー等の招聘	・他地域で成功している企業や専門家による助言。	③	
	ターゲットの明確化	・国内旅行者の中心層（30～40代女性）をターゲットとした戦略。	③	再掲
	地域資源を活かしたインバウンド誘致	・釣り船業者などの料金や条件等の情報をまとめ、宿泊施設へ提供。	③	再掲
	地域連携強化と情報発信の仕組みづくり	・パンフレットを各施設に配布・他地域へ広げるシステム構築。 ・複数年担当の担当者の配置。 ・広告宣伝費への補助。	③	

区分	取組項目	意見等の内容	区分	備考
	他地域の関係者や関係人口との連携	・他地域との縁を活かした観光PRや交流。	(③)	
	地域発の観光企画を形にする仕組みづくり	・地域の観光企画を実行に移すための補助。	(③)	
宿泊事業者に対する支援	施設改修支援	・インバウンド向けの和室改装に対する補助。 ・コンセプトルーム整備など、テーマ宿泊企画に対する支援。	(③)	
	移動手段の確保	・EV充電設備に係る電気代の補助。	(③)	再掲
	地域資源を活かしたインバウンド誘致	・自動翻訳機などの購入費補助。	(③)	再掲
	宿泊施設における地元食材の購入支援	・高価で利益が出にくい地元食材の購入費補助。 ・石巻限定の食材提供により、地域全体で魅力発信。	(③)	
	地域連携強化と情報発信の仕組みづくり	・広告宣伝費への補助。	(③)	再掲
	漁業体験の観光化への支援	・遊漁船安全設備の導入費の補助。 ・遊漁船運行資格の取得支援。	(③)	再掲
	DX設備に対する補助	・インバウンド向けDX設備整備に対する補助（フリーWi-Fi等）。	(③)	
その他	宿泊税の公平な配分	・宿泊税は圏域や業種に偏らずに公平に行きわたるようにするべき。	-	
	既存予算の維持	・宿泊税の追加的財源を従来の観光予算の置き換えにしないよう注意。	-	
	地域内格差への配慮	・広域圏内での競合を避けつつ、石巻として必要な資金を確保し、宿泊税の使途を明確に示してほしい。	-	
	宿泊税の還元	・宿泊税を多く納めた宿へのインセンティブとしての還元。	-	

## 第2回宿泊事業者部会で出された意見等（宿泊税の活用）

※区分：①戦略的な観光地域づくり ②周遊性向上のための二次交通対策 ③快適な旅行環境のための受け入れ環境整備 ④効果的なプロモーションの展開

大項目	取組項目	意見等の内容	備考
①戦略的な観光地域づくり	戦略的な観光コンテンツづくり	以前は二次交通対策が最優先と考えていたが、現在は戦略的な観光コンテンツづくりが重要と考える	-
	観光客への訴求力向上	観光客への訴求力を高める取組も必要	-
	スポーツ誘致	圏域のスポーツ誘致も納税者にとっては良い取組ではないか	-
	アドベンチャーツーリズム等の開発	生産者と連携したアドベンチャーツーリズムや防災ツーリズム、文化体験などの開発が必要	-
	ナイトタイム観光	石ノ森萬画館のナイトツアーなど夜間観光強化	-
	学びや体験を持ち帰る商品作り	宿泊税を活用し、地域経済活性化につなげる	-
	戦略的な観光地域づくり	魅力的な観光地を作ることが最優先	-
	ブルーインパルス活用	ブルーインパルスなど唯一無二のコンテンツ活用	-
	冬季イベント開催	冬にも航空祭のような集客イベントを開催	-
	戦略的な観光地作り	東松島市・女川町・石巻市が連携したコンセプト設定が重要	-
	金華山・田代島活用	宿泊レシート割引やマリンスポーツ割引など連携施策	-
	コンセプト「体験するっしゃ松川巻」	3市町で体験型宿泊を磨き上げるコンセプト提案	-
	閑散期対策	松島とのコンテンツ連携で閑散期集客	-
	戦略立案の重要性	コンセプト策定後に整備・プロモーション	-
	コンテンツ磨き上げと保護	磨き上げたいコンテンツは今あるものを磨く、新しいものを作る、消えそうなものを守るの3つ。郷土芸能や食など地方の暮らしを大切にし、伝えていくことが重要	-
	文化的資源の継承	暮らしが多様化しても残したいものはあるが、人口減少で担い手や職人がいない。こうした文化的な部分は観光と結び付けられると考えている	-
	自然環境の保全と観光	どんな戦略でも基盤は山や海などの自然。自然が侵されつつある今、長期ビジョンで観光と暮らしを一体化させることが大事	-
	過疎地域の文化活用	過疎地域は自然が守られ、良い文化が残っている。これを観光とつなげられないかと考えている	-
	長期的ビジョンの必要性	短期施策だけでなく、30年・50年後の宮城の姿を考えるべき	-
	プロモーションの優先順位	施策1～3が整っていないとプロモ効果は疑問、内容決定が先	-
	圏域外団体との連携	圏域外のDMOや観光協会などとも連携が必要	-
	商業施設横連携	複数店舗巡り特典などの横連携	-
	イベント集約	地域ごとのイベントを集約し大規模化して発信	-
	受入環境整備（パンフ・クーポン）	パンフレットやスタンプラリー、クーポンの準備が有効	-
	イベント補助	宿泊税を活用し、人が集まるイベントを支援することで地域経済を活性化	-
	体験型観光の恒常化	農林水産体験や定置網体験を恒常に実施できるよう補助	-
	地域芸術祭の支援	芸術祭など集客力のあるイベントへの支援	-
	ふるさと納税連携イベント	地域の魅力を発信するため、クイズ大会や大規模イベントを開催し、豪華賞品や有名人招待で定着を図る	-
	戦略的な観光コンテンツづくり	交通整備よりも先に、地域の魅力を生み出すための戦略的な観光地域づくりを	-
	猫バス・猫電車など話題性交通	田代島の猫を活用した猫バス・猫電車など話題性ある交通施策	-
	冬季観光コンテンツ強化	冬季の観光コンテンツが弱く、季節に応じたイベント実施を検討	-
	地域の魅力の検討	地域の魅力が何なのか検討し、それに付随するもので街の活性化	-
	スポーツ誘致	夏が猛暑となる地域からの誘致	-
	スポーツ合宿の誘致	プロを招いた練習会の開催などによる親世代も巻き込んだ宿泊	-
	既存の観光施設の整備等	御番所公園の再整備/サンファンパークPR拡充	-
②周遊性向上のための二次交通対策	インター名の改善提案	三陸道の案内板に北上・雄勝・牡鹿が抜けている。知名度向上のため案内板に記載すべき	-
	猫バス・猫電車など話題性交通	田代島の猫を活用した猫バス・猫電車など話題性ある交通施策	(再掲)
	自動運転観光バス	自動運転による観光周遊バス実験誘致	-
	二次交通整備	魅力的な観光コンテンツと併せて移動しやすい環境整備	-
	カーシェア・電動킥ボード導入	個人旅行者向け移動手段の充実	-
	イベント時の特別便運行	JR等と連携した特別便運行	-
	イベント時の特別便運行	移動手段/既存のミヤコーバスのJRや他の移動手段との運行時間変更調整	-
	二次交通必須	圏域の地域柄、二次交通は必須	-
	トレイン利用者向け交通	二次交通は重要、紙マップやWEBで動線明確化	-

大項目	取組項目	意見等の内容	備考
	牡蠣食べ比べツアー	松島と牡鹿半島を結ぶ交通補助で圏域全体を楽しませる	-
	三陸道活用と誘客	三陸道は沿岸部の観光に影響大だが、石巻を通過される課題もある。途中で泊まつてもらえるよう活用したい	-
	圏域周遊バスの運行	マイクロバスや10名乗ワゴン車を活用した小回りのきく周遊バス運行	-
	イベント時の補助	金華山大祭時の特別便や飲食店延長営業、タクシー補助	-
	住民バスの観光化	住民バス等の観光客利用を可能にする。	-
	主要な交通拠点からのハード整備	まずは魅力を抽出と空港、駅からのライフラインの計画	-
③快適な旅行環境のための受け入れ 環境整備	設備投資補助の公平性	設備投資補助は宿泊事業者に平等な恩恵があるようには思えない。	-
	DX導入の具体化	DXは意識啓発よりも具体的な導入内容を詰める必要がある	-
	宿泊人材確保	マッチングよりも人材数の確保を優先すべき	-
	宿泊設備・人材確保	宿泊施設不足を防ぎ、宿泊設備・人材確保など要望に応えられる体制整備	-
	インバウンド予約支援	ネット予約受入の課題に県のアドバイスを希望	-
	OTA導入支援	高齢事業者へのOTA導入支援が必要	-
	実務的支援優先	セミナーよりも施設や顧客への直接支援を希望	-
	連泊補助	圏域3市町をまたぐ連泊者への補助	-
	AI活用プロモーション	来訪前にAIで誘客、来訪後は地域事業者で補足	-
	イベント時の補助	金華山大祭時の特別便や飲食店延長営業、タクシー補助	(再掲)
	スポーツ誘致	圏域のスポーツ誘致も納税者にとっては良い取組ではないか	(再掲)
	戦略的な観光地作り	東松島市・女川町・石巻市が連携したコンセプト設定が重要	(再掲)
	金華山・田代島活用	宿泊レシート割引やマリンスポーツ割引など連携施策	(再掲)
	コンセプト「体験するっちゃん松川巻」	3市町で体験型宿泊を磨き上げるコンセプト提案	(再掲)
	圏域外団体との連携	圏域外のDMOや観光協会なども連携が必要	(再掲)
	商業施設横連携	複数店舗巡り特典などの横連携	(再掲)
④効果的なプロモーションの展開	受入環境整備（パンフ・クーポン）	パンフレットやスタンプラリー、クーポンの準備が有効	(再掲)
	スポーツ誘致	夏が猛暑となる地域からの誘致	(再掲)
	様々な施設を組み込んだ施策	宿泊業と飲食業、娯楽施設などを組み込んだ施策を考えて行く必要がある	-
	離島への誘導	仙台、松島まで来ているインバウンド客を宿泊が必然となる離島（金華山、田代島等）までの誘導。	-
	圏域観光パンフレット作成	宿泊事業者が勧めやすい簡易パンフレット作成	-
	ターゲット別プロモーション	ターゲットごとに異なるプロモーションの作成と発信が必要	-
	冬季観光コンテンツ強化	冬季の観光コンテンツが弱く、季節に応じたイベント実施を検討	(再掲)
	SNSインフルエンサー活用	SNSインフルエンサーの活用はされているが効果が薄く、具体的な動きが必要	-
	コンテンツ発信	SNSやインフルエンサー活用も重要だが、県としての情報発信が必要	-
	観光資源マップ化	金華山・田代島・嵯峨渓などをマップ化、体験型施策提案	-

## ■宿泊者数の回復に向けた取組の強化

- ・宿泊施設ではビジネス需要が減少傾向にあるため、稼働率の回復に向けた取組が必要である。
- ・団体旅行から個人旅行への変化に対応し、個人旅行者向けのサービス強化が求められている。

## ■周遊性と滞在時間の向上を図る移動手段の確保

- ・バスやタクシーなどの二次交通が不足しているため、移動手段の確保が必要である。

## ■インバウンド受入環境の整備

- ・今後拡大が見込まれるインバウンド受入に対応するため、訪日外国人旅行者の受入体制等の環境整備が必要である。

## ■厳しい経営環境に対する支援

- ・気候変動の影響による魚種の変化や海産資源の不安定化に加え、物価高騰や人手不足等が深刻化しているため、冬季などの閑散期を含め安定的な集客策の確立と持続可能な経営体制の構築支援が求められている。

## ■観光関係者間の連携強化

- ・観光振興を地域全体で押し進めていくためには、観光関係者同士の協力体制の強化が重要である。

# 施策1 戦略的な観光地域づくり

## ① 体験・コンテンツ開発・商品造成

### ● 体験ツアー造成・販売

- ・体験ツアー造成支援
- ・アドベンチャーツーリズム×ローカルガストロミー

### ● 漁業体験の観光化

- ・遊漁船安全設備の導入補助
- ・遊漁船資格の取得支援

### ● ダイビング・マリンスポーツ・SUP等

- ・ダイビングポイント開発
- ・マリンスポーツ宿泊ツアー補助
- ・モーターボート、SUP

### ● 一次産業との連携

- ・漁業者協力のブルーツーリズム支援
- ・新魚種レシピ勉強会

### ● オルレ利用者の宿泊誘導

- ・オルレ×宿泊特典制度
- ・ポイント事業・口コミ

### ● 暮らしや文化の観光化

- ・自然環境の保全と観光
- ・文化的資源の継承

## ② 地域資源の磨き上げ・差別化

### ● 金華山等の観光資源活用

- ・金華山の魅力調査・プロモーション
- ・船のカモメ餌やり体験
- ・海中観光資源調査

### ● 他地域との差別化

- ・石巻ならではの尖った戦略

### ● 圏域ブランド確立

- ・田代島、金華山のジンクス活用
- ・広域マップ作成
- ・スタンプラー、特典企画

## ③ 広域連携・交流拡大

### ● 集客力のある地域との連携

- ・仙台・松島との連携
- ・観光客を引き込む仕掛け

### ● スポーツ合宿・長期滞在

- ・積雪の少なさを活かしたスポーツ合宿誘致
- ・全国合同練習会
- ・送迎費補助
- ・プロを招いた練習会の開催

### ● 滞在型宿泊促進

- ・釣り・SUP等拠点開拓

## ④ インバウンド誘致

### ● 金華山・田代島・地域資源の海外発信

- ・鹿・猫など人気資源の発信

### ● インバウンド商品造成

- ・団体ツアー組み込み
- ・ブルーインパルス搭乗体験
- ・馬車運行補助
- ・自動翻訳機補助

## ⑤ イベント・プロモーション

### ● 海を活用したイベント

- ・海上競技、音楽フェス

### ● 目玉イベント

- ・花火大会、ドローンショー
- ・エリアマップ作成
- ・ナイトコンテンツ

## ⑥ ターゲティング・戦略立案

### ● ターゲットの明確化

- ・30～40代女性中心の戦略

# 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

## ① 地域内周遊・二次交通整備

- 圏域内の移動

- ・塩竈・松島から石巻圏域への移動手段整備
- ・石巻市内の観光地を巡る定期循環バス
- ・駅と宿・観光地をつなぐバス
- ・観光客向け交通手段・周辺案内サポート
- ・自動運転による観光周遊バス

- 大型イベント開催時の特別便の運行

- ・JR等と連携した増便

## ② 個人客・多様な移動手段の導入

- 個人向けモビリティ

- ・電動キックボード・カーシェア
- ・レンタサイクル補助
- ・EV充電設備の電気代補助
- ・住民バスの観光客利用

## ③ 空港・広域アクセス整備

- 仙台空港 ⇄ 石巻圏域

- ・送迎バスの整備
- ・直行便による誘客強化
- ・スムーズな移動手段の整備

## ④ 地域資源を活かした交通体験

- 観光体験型移動

- ・馬車運行の補助

- 地域資源をモチーフにした交通手段

- ・猫型のバスや電車

# 施策3 快適な旅行環境のための受入環境整備

## ① 観光受入体制の整備・強化

- 予約体制の強化
  - ・ツアー予約受付やコンダクター支援
- 体験コンテンツ受入れ連携
  - ・空き枠を他施設に案内する仕組み
- 施設改修支援
  - ・和室改装、テーマ宿泊企画支援
- 移動手段の確保
  - ・EV充電設備補助
- DX設備に対する補助
  - ・フリーWi-Fi等インバウンド対応

## ② 地域連携・ネットワーク強化

- 連携体制整備
  - ・DMOの横断調整・事業者連携
- 地域間の連携
  - ・三陸道・JR沿線共通通貨、クーポン
- 地域連携強化と情報発信の仕組みづくり
  - ・パンフレット配布、広域PR
- 他地域関係者・関係人口との連携
  - ・縁を活かした観光PR

- 地域発観光企画を形にする仕組み
  - ・企画の実行補助
- 地域連携強化と情報発信の仕組みづくり
  - ・広告宣伝費補助（重複）
- 広域連携による競技団体誘致
  - ・運動施設の広域利活用

## ③ 情報発信・マーケティング

- OTA戦略見直し
  - ・新たなOTA戦略
- ターゲットの明確化
  - ・30～40代女性中心層
- 他地域との差別化
  - ・尖った戦略の必要性
- 広域的情報発信
  - ・パンフレット・PR
- 広告宣伝費への補助

## ④ 地域資源活用・体験観光推進

- 地域資源を活かしたインバウンド誘致
  - ・釣り船業者情報提供
  - ・自動翻訳機等補助
- 漁業体験観光化支援
  - ・遊漁船安全設備、資格取得支援
- 宿泊施設の地元食材購入支援
  - ・地元食材の提供・補助

## ⑤ 人材育成・担い手づくり

- 観光振興の担い手づくり
  - ・若者対象のワークショップ
- アドバイザー等の招聘
  - ・他地域成功事例の助言

## ⑥ 施設・環境のDX・インフラ整備

- 施設改修支援
  - ・和室改装、テーマルーム
- DX設備整備補助
  - ・フリーWi-Fi

# 施策4 効果的なプロモーションの展開

## ① 海外向け情報発信・プロモーション強化 (外国人向けの情報発信・広報活動)

- 海外向け情報発信の強化
  - ・VISIT MIYAGIへの情報掲載強化
  - ・OTA・DMOへのリンク強化
  - ・SNS・TikTok向けプロモーション動画
- 人を呼び込むためのSNS強化
- プロモーションの強化
- 外国人インフルエンサーの活用
- 地域資源の海外発信（例：金華山の鹿、田代島の猫）

## ③ 観光資源の活用・新商品造成 (石巻地域ならではの資源やイベント活用)

- 金華山の外国人向け活用
  - ・魅力調査
  - ・プロモーション（鹿・海・緑・ヨガ）
  - ・海中資源調査
  - ・団体ツアーへの組み込み（カモメ餌やり）
- イベント開催による誘客
  - ・花火大会・ドローンショー
  - ・エリアマップ作成
- 地域資源活用（②と重複）

## ② インバウンド誘客・市場開拓

- インバウンド対策
  - ・仙台空港の直行便を活かした誘客
  - ・台湾・中国などからの来訪促進
- 外国人の長期滞在促進
  - ・長期滞在施設紹介サイト開設
  - ・レンタカー補助

- 地域資源を活かしたインバウンド誘致
  - ・SUP、モーターボート、牧場体験
  - ・釣り船情報を宿泊施設に提供
  - ・ブルーインパルス搭乗体験
  - ・マリンスポーツ宿泊ツアー補助
  - ・馬車運行補助
  - ・自動翻訳機購入補助

## ④ 宿泊・食の魅力発信 (宿泊・地元食材・サービス強化)

- 宿泊施設における地元食材の購入支援
  - ・石巻限定食材の提供
- 長期滞在施設紹介
- 宿泊・マリンスポーツツアー補助

## ⑤ インバウンド受入環境整備 (施設・DX・多言語対応の充実)

- インバウンド対応力の向上
  - ・多言語SNS予約・メッセージ対応支援
- DX設備に対する補助
  - ・フリーWi-Fi等